

### 今回の連載テーマ

### おすすめの小説紹介します

今回は、図書委員おすすめの小説を紹介します。

紹介した本は、カウンター横のスペースに展示してあります。  
この「読書の秋」にぜひ読んでみてください。

#### 〈本の紹介〉

##### 『撻上今日子の備忘録』 西尾維新/著 講談社

今回紹介する本は、『撻上今日子の備忘録』です。

どんなことでも一日で、寝て起きたらすべて忘れてしまう  
忘却探偵、撻上今日子と、重度の巻き込まれ体质の隠館厄  
介。二人が繰り広げる推理ストーリー。

この作品は、私に小説の面白さを今まで以上に感じさせて  
くれた本です。特にこの本で面白いなと感じたところは、  
主人公の撻上今日子です。忘却探偵という今までにない設  
定やこのキャラの性格などが新鮮でとても興味をそそ  
れ、ずぶずぶと沼にはまってしまいました。

この本は文の書き方が堅苦しくなく、結構読みやすい本  
です。推理小説が好き！という人には特におすすめです  
が、そんなこと関係なく、たくさんの人々に読んで欲しい一作  
です。

(担当:1E)

著作権法上  
書影削除

#### 〈本の紹介〉

##### 『空の境界』シリーズ 奈須きのこ/著 講談社

私が紹介する本は『空の境界』です。

この本は、主人公の一人である両儀式が二年間の昏睡から目  
覚めたときに自身の記憶喪失と引き換えにあらゆるモノの死を  
視ることのできる“直死の魔眼”を手に入れ、様々なモノと戦う話  
です。

爽快なバトルアクションや主人公達の恋愛の行く末などのほか  
にも、とても細かい描写など見どころが盛りだく  
さんです。上中下巻で構成されています。私の  
個人的におすすめの巻は下巻です。

皆さん是非読んでみてください。

(担当:1A)

著作権法上  
書影削除

#### 〈本の紹介〉

##### 『ストロベリーナイト』 誉田哲也/著 光文社

僕が紹介する本は『ストロベリーナイト』です。

作者が自ら創り出したキャラクター、小説世界に作者が心底惚  
れ込み、楽しんで書いているのであろうことが読む側にも伝わる。  
そんな熱気、躍動感が全編にみなぎっているのがこの小説の最大  
の魅力です。

この本は、僕が初めて読んだ小説であり、一番好きな作品で  
す。ちょっと引いてしまうような残虐な描写や、殺人者になってしま  
った者の悲しくなるような過去がとても印象的  
です。

皆さんも是非一度読んでみてください。

(担当:2E)

著作権法上  
書影削除

#### 〈第4回教養講座振り返り〉

教養講座で募集した質問に回答をいただきました！  
抜粋して紹介します。

#### Q. 博物館の魅力は何ですか

A. ものを様々な角度から観られることかな、と思います。

あとは、展示物は、もちろんそれ自体の形、内容があるのですが、展示には資料の価値付けがともないです。なぜその展示を出陳したのか、どういう資料として扱っているのか、という担当者のメッセージを読み取ったり受け取ったりするのも面白いのかな、と担当展示をしてみて思いました。

#### Q. 働いていて何が特に楽しいと感じましたか

A. 学芸員は資料ありきの業務なので、なにか扱う資料が出て  
きたとき、様々な資料と突き合わせて、資料に対して、これまで  
他の人が注目しなかった視点を発見し、それをまとめていくとき  
が楽しかったですね。(むしろ学芸員というより、研究的な  
発想かもしれません。)あと、ある資料を展示で言及したところ、  
その資料の存在を介して人とのつながりを作れたことがあります。  
それはうれしかったですね。

第5回 図書委員会主催 教養講座  
「シドニーのクリスマスとニューイヤー」  
参加者募集中

今年度最後となる講座では、本校 ALT のリアン先生にシドニ  
ーのクリスマスとニューイヤーについてお話ししていただきます。  
日本とは季節が真逆の国ではどのように過ごしているので  
しょうか？後半では、クリスマスカードを作るワークショップを  
開催します。

皆さんの参加お待ちしています。

  
日時:12月10日(水) 16:00~17:00  
講師:リアン先生 会場:図書館  
持ち物:筆記用具、はさみ、のり  
参加申し込み:Classi または図書館カウンター  
の参加用紙にご記入ください